

2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日

東

上場会社名	JIG-SAW株式会社	上場取引所
コード番号	3914	URL https://www.jig-saw.com/
代表者 (役職名)	代表取締役社長	(氏名) 山川 真考
問合せ先責任者 (役職名)	取締役	(氏名) 鈴木 博道
定時株主総会開催予定日	2026年3月25日	(TEL) 03-6262-5160
有価証券報告書提出予定日	2026年3月24日	配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無	: 有	—
決算説明会開催の有無	: 無	

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	3,625	4.4	549	△1.2	600	△2.5	418	△12.6
2024年12月期	3,472	7.2	556	△11.0	615	△4.6	478	4.2
(注) 包括利益	2025年12月期		421百万円(△18.3%)		2024年12月期		515百万円(5.6%)	
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
2025年12月期	円 銭	63.47	円 銭	63.33	%	13.3	%	11.8
2024年12月期		72.11		71.89		17.2		14.8

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 3百万円 2024年12月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年12月期	5,292		3,368		61.5		495.11	
2024年12月期	4,855		3,153		62.9		459.62	
(参考) 自己資本	2025年12月期		3,256百万円		2024年12月期		3,054百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	458	△88	13	2,375
2024年12月期	618	△540	410	1,987

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2026年12月期の配当については、現在未定であります。

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

当社ビジネスは堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及び米国を軸としたグローバルIoT・生成AIビジネスや建設機械分野における自動運転ソフトウェアビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期	6,751,000株	2024年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期	174,637株	2024年12月期	105,895株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	6,589,490株	2024年12月期	6,639,379株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		(% 表示は対前期増減率)	
2025年12月期		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
		3,625	4.4	508	△0.8	561	△2.6	386	△13.6		
2024年12月期		3,472	7.6	512	△12.2	576	△6.1	447	3.1		
		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益							
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭			
2025年12月期											
		58.65		58.52							
2024年12月期		67.39		67.19							

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年12月期	百万円	百万円	%	円 銭
	5,006	3,103	59.8	454.86
2024年12月期	4,588	2,924	61.6	425.22

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,991百万円 2024年12月期 2,825百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1 株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、社会基盤となったデジタル領域が浸透・拡大し、人々の情報収集、コミュニケーション、消費行動や企業の経済活動に大きな変化が生じつつあります。特に、AIは爆発的な進化を続けており、大規模言語モデルにおいて巨大な汎用モデルの開発が進展する一方、新たな技術も日々出現しております。今後、AIが進化し、あらゆるデジタル分野に浸透・連携することで、デジタル社会を支える基盤的要素となる可能性が高まっております。それに伴い、社会全体のイノベーション促進やデジタル化・DX推進を支える基盤としてのデジタルインフラの整備・維持の重要性も高まっております（出典：総務省「令和7年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、生成AI、IoT分野に加え、自動運転ソフトウェアにおける研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組み等を、国内外において着実に進めております。

当社のシステムマネージ・クラウドマネージ・生成AI・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当社の現時点での主力事業であるシステムマネジメントは、世界的なインフレや為替・金融資本市場の変動、米国の通商政策による影響、中国経済の停滞、不安定な国際情勢の影響を受けることなく、当連結会計年度においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、上場以来過去最高の月額課金売上のプラス成長に着地する潮流が続いております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化にも注力し、先行投資は過去最高額となりました。

世界の産業用IoT市場は、2033年には4兆7,183億ドルへ拡大すると予測（出典：Straits Research「産業IoT市場サイズと展望 2025-2033」）されており、当社データコントロールサービスのグローバルにおける需要も高まる中、当社は独自開発のIoTエンジン「NEQTO」やロボット型自動運用プラットフォーム「puzzle」を軸に、あらゆる機器やネットワークサービスを管理・制御する高度なソリューションを提供しております。JIG-SAW米国法人（JIG-SAW US, INC.）においては、NEQTO.aiによる様々なIoTデータの集約を実現するIoT-AIダッシュボードサービスを開始しています。NEQTO.aiの導入具体例として、米国の飲料水配達サービス会社であるAdvanced Water社では、専門知識なしで、製品の品質維持に必要な倉庫環境における温度・湿度管理のリアルタイムモニタリングを実現しました。また、米国Blues社と戦略的パートナーシップを通じて、デバイス接続からデータ活用までを短期間・低負荷で実現するIoTソリューションの提供にも取り組んでおります。さらに、当社と酒井重工業株式会社が共同で進めるロードローラ向けの自動操縦標準機開発プロジェクトにおいては、前田道路株式会社のプロジェクト参画に加え、複数の建設機器の自律的な施工技術について特許登録を受けるなど、業界標準機の実現に向けての取り組みを推進しております。各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」では、取引総額が697,979千円（前年同期比17.4%増）拡大しました。今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は過去最高を更新し、前年同期と比較して約63,000千円増加となりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高3,625,500千円（前年同期比4.4%増）、営業利益549,776千円（前年同期比1.2%減）、経常利益600,695千円（前年同期比2.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益418,233千円（前年同期比12.6%減）となりました。なお、新東京本社における本社移転費用影響の収束に伴い、各四半期連結累計期間における営業利益の前年比率は、第1四半期△33.8%、第2四半期△28.8%、第3四半期△10.6%、通期△1.2%となり、想定を上回る改善が続いております。

当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、3,955,651千円（前連結会計年度末比563,001千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比388,176千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比137,970千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、1,337,064千円（前連結会計年度末比125,703千円減）となりました。これは主に、敷金及び保証金が減少（前連結会計年度末比161,006千円減）、繰延税金資産が減少（前連結会計年度末比46,568千円減）し

た一方で、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比44,794千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における総資産は、5,292,716千円となり、前連結会計年度末に比べ437,298千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、1,339,337千円（前連結会計年度末比6,656千円増）となりました。これは主に、未払金が減少（前連結会計年度末比100,811千円減）した一方で、買掛金が増加（前連結会計年度末比93,234千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、585,376千円（前連結会計年度末比216,198千円増）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比180,004千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における負債は、1,924,714千円となり、前連結会計年度末に比べ222,854千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、3,368,001千円（前連結会計年度末比214,444千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比418,233千円増）した一方で、自己株式が増加（前連結会計年度末比226,004千円増）したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,375,218千円（前連結会計年度末比387,950千円増）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により獲得した資金は、458,511千円（前連結会計年度は618,820千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益606,376千円の計上により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、88,645千円（前連結会計年度は540,548千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出209,910千円により資金が減少した一方で、敷金及び保証金の回収による収入140,783千円により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により獲得した資金は、13,659千円（前連結会計年度は410,206千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入350,000千円により資金が増加した一方、自己株式の取得による支出232,722千円、長期借入金の返済による支出99,996千円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社ビジネスは堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及び米国を軸としたグローバルIoT・生成AIビジネスや建設機械分野における自動運転ソフトウェアビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,992,757	2,380,933
売掛金	1,248,616	1,386,587
その他	158,905	195,995
貸倒引当金	△7,629	△7,865
流动資産合計	3,392,649	3,955,651
固定資産		
有形固定資産		
建物	349,684	300,603
減価償却累計額	△195,364	△83,428
建物（純額）	154,319	217,174
工具、器具及び備品	446,175	401,745
減価償却累計額	△233,023	△206,653
工具、器具及び備品（純額）	213,152	195,091
有形固定資産合計	367,472	412,266
無形固定資産	42,658	43,032
投資その他の資産		
投資有価証券	211,773	218,876
敷金及び保証金	611,813	450,806
繰延税金資産	193,040	146,471
その他	36,550	66,149
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	1,052,637	881,765
固定資産合計	1,462,767	1,337,064
資産合計	4,855,417	5,292,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	738, 584	831, 819
1年内返済予定の長期借入金	99, 996	169, 996
未払金	274, 124	173, 312
未払法人税等	133, 544	51, 260
その他	86, 431	112, 949
流動負債合計	1, 332, 681	1, 339, 337
固定負債		
長期借入金	350, 006	530, 010
その他	19, 172	55, 366
固定負債合計	369, 178	585, 376
負債合計	1, 701, 859	1, 924, 714
純資産の部		
株主資本		
資本金	351, 107	351, 107
資本剰余金	310, 580	317, 237
利益剰余金	2, 751, 625	3, 169, 859
自己株式	△483, 322	△709, 327
株主資本合計	2, 929, 991	3, 128, 876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32, 992	31, 593
為替換算調整勘定	91, 217	95, 534
その他の包括利益累計額合計	124, 210	127, 127
新株予約権	99, 355	111, 997
純資産合計	3, 153, 557	3, 368, 001
負債純資産合計	4, 855, 417	5, 292, 716

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,472,875	3,625,500
売上原価	1,029,377	1,081,193
売上総利益	2,443,498	2,544,307
販売費及び一般管理費	1,886,873	1,994,530
営業利益	556,625	549,776
営業外収益		
受取利息	224	1,625
受取配当金	7,088	5,675
受取手数料	40,695	40,573
投資有価証券売却益	3,235	3,172
助成金収入	3,226	433
その他	6,462	4,705
営業外収益合計	60,932	56,185
営業外費用		
支払利息	1,688	4,190
自己株式取得費用	—	1,062
その他	0	13
営業外費用合計	1,688	5,266
経常利益	615,868	600,695
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,681
特別利益合計	—	5,681
税金等調整前当期純利益	615,868	606,376
法人税、住民税及び事業税	215,439	141,833
法人税等調整額	△78,303	46,310
法人税等合計	137,135	188,143
当期純利益	478,732	418,233
親会社株主に帰属する当期純利益	478,732	418,233

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	478,732	418,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,315	△1,399
為替換算調整勘定	25,626	4,316
その他の包括利益合計	36,941	2,917
包括利益	515,674	421,150
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	515,674	421,150
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,107	310,580	2,435,249	△666,395	2,430,542
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			478,732		478,732
自己株式の取得				△398	△398
自己株式の処分		△162,357		183,471	21,114
自己株式処分差損の振替		162,357	△162,357		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	316,375	183,072	499,448
当期末残高	351,107	310,580	2,751,625	△483,322	2,929,991

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	21,677	65,591	87,268	72,174	2,589,986
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					478,732
自己株式の取得					△398
自己株式の処分					21,114
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,315	25,626	36,941	27,181	64,122
当期変動額合計	11,315	25,626	36,941	27,181	563,571
当期末残高	32,992	91,217	124,210	99,355	3,153,557

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,107	310,580	2,751,625	△483,322	2,929,991
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			418,233		418,233
自己株式の取得				△231,659	△231,659
自己株式の処分		6,656		5,654	12,311
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6,656	418,233	△226,004	198,885
当期末残高	351,107	317,237	3,169,859	△709,327	3,128,876

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	32,992	91,217	124,210	99,355	3,153,557
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					418,233
自己株式の取得					△231,659
自己株式の処分					12,311
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,399	4,316	2,917	12,641	15,558
当期変動額合計	△1,399	4,316	2,917	12,641	214,444
当期末残高	31,593	95,534	127,127	111,997	3,368,001

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	615,868	606,376
減価償却費	152,194	89,984
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△15,243	235
受取利息及び受取配当金	△7,312	△7,301
助成金収入	△3,226	△433
支払利息	1,688	4,190
売上債権の増減額（△は増加）	△235,748	△137,956
仕入債務の増減額（△は減少）	195,203	93,234
未払金の増減額（△は減少）	93,471	△19,001
その他	8,598	61,952
小計	805,493	691,281
利息及び配当金の受取額	224	1,626
助成金の受取額	3,226	433
利息の支払額	△1,968	△5,561
法人税等の支払額	△188,155	△229,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	618,820	458,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△197,410	△209,910
無形固定資産の取得による支出	△14,103	△7,340
敷金及び保証金の差入による支出	△285,251	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	140,783
投資有価証券の取得による支出	△49,000	—
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△15,350
その他	5,216	3,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△540,548	△88,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△94,998	△99,996
自己株式の取得による支出	△398	△232,722
自己株式の処分による収入	9,751	1
その他	△4,148	△3,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	410,206	13,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,817	4,425
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	512,295	387,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,474,973	1,987,268
現金及び現金同等物の期末残高	1,987,268	2,375,218

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり純資産額	459.62円	495.11円
1 株当たり当期純利益金額	72.11円	63.47円
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額	71.89円	63.33円

(注) 1 株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	478,732	418,233
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	478,732	418,233
普通株式の期中平均株式数(株)	6,639,379	6,589,490
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	20,078	15,035
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。